

びわ湖大津 SDGs 教育旅行プログラム

SDGs 探究学習

事前 / 事後 / 学習ワークシート

プログラムの内容

びわ湖大津SDGs教育旅行プログラムは、京都の隣、豊かな自然や歴史文化に恵まれた滋賀県大津市で実施する教育旅行向けのSDGs探究学習プログラムです。

事前学習では、訪問先について調べるだけでなく、皆さんが住む地域の課題についても考えてみましょう。現地学習では体験学習を通して、大津市の課題や取組についても学び、事後学習で、現地での体験現地での体験から得た学びを、あなたの地域でどう生かせるか考えてみましょう。

事前学習

現地学習

事後学習

本書は、びわ湖大津で実施する体験学習や自主研修を「現地学習」と位置づけ、事前学習、事後学習を組み合わせた探究的な学習の教材(ワークシート)としてご活用ください。

監修 笹谷 秀光

千葉商科大学教授

同大学サステナビリティ研究所長
博士(政策研究)
ESG/SDGsコンサルタント



6つのテーマから選ぶ 体験学習プログラム

びわ湖でのウォータースポーツや伝統産業や自然体験などを、6つの学習テーマに分類しています。自分たちが体験するプログラムがどのような学びに結びつくのかをイメージしやすくなります。

各プログラムごとに関連する SDGsゴールを設定

各プログラムがSDGs 17の目標のどれに該当するのかを示しています。日々のSDGs 学習につなげやすく、はじめてSDGsを学ぶ児童生徒向けとしてもわかりやすい教材となっています。



滋賀県独自の取り組みも参考に

琵琶湖版SDGs

「マザーレイクゴールズ(MLGs)」

世界農業遺産

「琵琶湖システム」



独自の琵琶湖版SDGs「MLGs」や、世界農業遺産に認定された「琵琶湖システム」などの、滋賀県ならではの取組を学びあなたの住む地域での取組の参考にしてみてはいかがでしょうか。

学習のながれ

事前学習

- 1 SDGsについて
- 2 「びわ湖大津」を知ろう
- 3 滋賀県独自の取り組みについて
- 4 体験するプログラムについて調べよう
- 5 現地と地域の課題・取組について調べよう
- 6 探究テーマを設定しよう

現地学習

現地での体験から学んだことを記録しよう

体験や現地の方からお話を通して感じたこと、気づいたこと、印象に残ったこと、地域との違い、現地ではどんな課題があったか等を記録

事後学習

- 1 振り返り
- 2 探究テーマについて意見をまとめよう
- 3 自分たちにできることってなんだろう

まとめ・発表

事前学習

1

SDGs について

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「SDGs」とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。

「誰一人取り残さない」という理念のもと、2015年に国際連合で採択された**17の目標**と**169のターゲット**、**232の指標**から構成される、**2030年までに世界をより持続可能な方向に導くための計画**のことです。

「SDGs」は、**貧困や飢餓の撲滅、教育の普及、エネルギーの利用の改善、気候変動への対処**など、幅広い課題をカバーしています。

これまで、人間社会は発展を続けてきましたが、その一方で近年においては物質的な豊かさを求めて社会を成長させようとした考え方が広まった結果、環境破壊に伴う自然災害の深刻化、あるいは貧困や教育の格差拡大、人権に対する価値観の違いによる紛争など、様々な社会課題が発生しました。

「SDGs」は、これらの課題を解消していくために、一部の人や国だけが取り組むのではなく、**国連加盟国すべてが協力し、2030年までに目標達成を目指していく**もので、私たちも一人一人が自分たちにできる範囲で、目標達成のための取り組みを進めていくことが重要です。

滋賀県大津市は、日本最大で最古の湖「琵琶湖」や山々を抱え、昔から人と自然が共生しながら暮らしを営んできた地域です。近江商人の「**三方よし**」の精神をはじめとする滋賀県に息づく、経済、社会、環境の調和を目指す考え方は、SDGsに通じるものがあり、現在、滋賀県各地では、**SDGs達成に向けた様々な取り組み**が進められています。

今回、修学旅行等で訪れる**びわ湖大津での体験**や**事前事後の学習**が、今後、皆さん自身が取り組んでいく「**自分自身のSDGsアクションプラン**」を考える探究の機会となれば幸いです。

皆様のお越しを心からお待ちしています。

事前学習

2

「びわ湖大津」を知ろう



琵琶湖と大津市について

琵琶湖は滋賀県にある日本で一番大きな湖。約670平方キロメートルという広大な面積を持ち、京都・大阪など近畿圏のおよそ1,450万人の生活を支えています。

その歴史は古く、10万年以上の歴史をもつ「**古代湖**」でもあります。10万年以上の歴史をもつ「古代湖」は世界でも約20しか存在せず、日本にあるのは琵琶湖だけです。

琵琶湖は生き物の宝庫としても知られ、多くの生き物が生息し、独自の進化をとげた琵琶湖にしか生息しない「**固有種**」は約60種にのぼります。

大津市は琵琶湖のほとり、滋賀県の南西部にあり、**京都駅からはJRで9分、京都市内中心部からは車で30分**ほどの距離にあります。

琵琶湖に寄り添うように広がる大津は、自然と人々の暮らしが調和した美しい風景に恵まれた歴史の街でもあります。天智天皇により遷都された**近江大津京**、**東海道最後の宿場町**、日本仏教の母山「**比叡山**」など、自然と歴史文化あふれる側面も持っています。

事前学習

3

滋賀県独自の取り組みについて

琵琶湖版SDGs

「マザーレイクゴールズ(MLGs)」

SDGsの視点から見ると、琵琶湖を通じてSDGsをアクションまで落とし込む仕組みが**MLGs**であり、MLGsの取り組みは**SDGsの達成に貢献する**ものと言えます。

MLGsからの視点で見ると、琵琶湖を通じて、石鹼運動以来40年にわたる県民等多様な主体による活動がSDGsにつながっていることを発見する仕組みと言えます。

琵琶湖を通じてSDGsを
アクションまで落とし込む



琵琶湖を通じて自分たちの活動が
SDGsにつながっていることを発見する

今、琵琶湖で起きている問題

例えば、琵琶湖の水はきれいになってきたが、
漁獲量は回復しない。

▶ 清らかさを感じる水質と、多様な魚介類を
育む水質は、必ずしも一致しないかもしれない。

- 多様で複雑
- 因果関係がわからない
- 問題を取り巻く社会状況が変化
- 気候変動の影響



琵琶湖の環境を = 自分たちの生活を
守ること = 見直すこと

- MLGsは「自分たちの生活を見直そう」という呼びかけ
- 琵琶湖は、人との暮らしと自然環境の関係を考え、持続可能な社会に向けた取り組みを進めるために最適なフィールド

POINT / MLGsは具体的でわかりやすい

- ▶ 琵琶湖をテーマにSDGsの視点で、ゴールを設定しており、SDGsの理解がより深まる

その他の取り組みについては、マザーレイクゴールズ公式サイト「MLGs WEB」を御覧ください。

MLGs WEB

検索



世界農業遺産「琵琶湖システム」

「琵琶湖システム」とは、琵琶湖に住む魚の生態を巧みに利用した「エリ漁」や「魚のゆりかご水田」、琵琶湖の環境に配慮した農業や森林保全活動など、**森・川・水田と湖のつながり**のこと。滋賀県で千年以上に渡り受け継がれてきた、世界的にも貴重な農林水産業の形です。



POINT / 湖上から地形(近江盆地)を眺めると、琵琶湖システムがわかる

- ▶ カヌー・カヤック、貸切船等で、湖上から滋賀県の地形を眺めると一連のつながりが理解できる。

その他の取り組みについては、琵琶湖システム紹介ページを御覧ください。

琵琶湖システム WEB

検索



事前学習

4

体験するプログラム について調べよう

■ 皆さんが体験するプログラムを記入してください。

プログラム名

体験する内容

■ 体験するプログラムに関連するテーマやSDGs 目標、MLGs目標を記入してください。

テーマ

SDGs目標

MLGs目標

事前学習

5

現地と地域の課題・取組 について調べよう

- 1 皆さんが体験するプログラムに設定されている関連するSDGsとMLGsの目標(ゴール)から、現地(大津市)では、どんな課題(解決すべき問題)があると思いますか？

現地の課題

- 2 上記 1 で考えた「現地の課題」と似たような課題が、皆さんが住んでいる地域にもありませんか？類似する自分の地域の課題について考えてみてください。

地域の課題

- 3 上記 2 に記載した地域の課題について、あなたの地域では、その課題を解決するためにどんな取組を実施しているかを調べ、まとめてみましょう？

地域の課題に対する地域の取組

事前学習

6

探究テーマを設定しよう

■ ここまでの事前学習を踏まえて、訪問する現地(大津市)で、もっと知りたいこと、調べてみたいこと、現地の方に聞いてみたいことをまとめてみましょう。

もっと知りたいこと、調べてみたいこと、現地の方に聞いてみたいこと

理由(なぜ、そう思ったのか)

■ 上記のワークを踏まえ、現地で体験するプログラムに関連するSDGs目標を参考にして、今回の訪問で取り組む自分なりの探究テーマを設定してみましょう。

探究テーマ

関連するSDGs目標(番号のみ記入)

現地学習

現地での体験から 学んだことを記録しよう

■ 体験や現地の方からのお話を通して感じたこと、気づいたこと、印象に残ったこと
地域との違い、現地ではどんな課題があったか等を記録しましょう。

事後学習

1

振り返り

1 現地での体験や、現地の方からのお話等を通じて学んだ現地の課題はどんな内容でしたか？

現地の課題

2 上記 1「現地の課題」について。
現地では、その課題を解決するためにどんな取組を実施していましたか？

課題に対する取組

3 上記 2で記入した取組について。
皆さんが住んでいる地域の課題解決に参考になる点や、類似する自分の地域の取組はありましたか？ 気づいた点を下記に記入してください。

参考になる点、類似する取組

事後学習

2

探究テーマ について意見をまとめよう

探究テーマ

関連するSDGs目標(番号のみ記入)

■ 探究テーマについて。

現地での体験やお話から、参考にしてみたい取組を考えて書いてみましょう。関連するSDGsの目標を踏まえ、その課題を解決するためにどんな行動が必要か考えてみましょう。

探究テーマに対する自分の意見

事後学習

3

自分たちができること ってなんだろう

ここまでの探究学習を踏まえて、今の自分にできること、やってみたいことを考えてみましょう。

個人でできること

学校や地域とできること

_____ 年 _____ 組 氏名 _____